

平成30年1月、前年同月比42%増 台湾とのチャーター便の運航等が要因

観光庁の宿泊旅行統計調査の平成30年1月分(第2次速報値)がとりまとめられたことを受け、東北運輸局管内(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県)の集計結果を、以下のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移(別添1)

○平成30年1月の東北運輸局管内の延べ外国人宿泊者数は 93,030 人泊となっており、前年同月(65,500 人泊)と比較して 42%増。全国での前年同月比は 1%増であり、全国と比較しても東北地域の伸び率は高い。震災前の平成22年同月比でも 140%増となった。

2. 東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数の推移(別添2)

○台湾及びタイについては好調が続いており、前年同月(23,680 人泊、2,330 人泊)と比較してそれぞれ 65%増(39,060 人泊)、45%増(3,390 人泊)。震災前の平成22年同月比でもそれぞれ 253%増、1,069%増となった。

3. 東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数の推移(別添3)

○岩手県及び青森県が特に好調であり、前年同月(11,250 人泊、11,290 人泊)と比較してそれぞれ 92%増(21,620 人泊)、75%増(19,710 人泊)となった。

※従業員数 10 人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年1月以降は月ごとの第2次速報値。

詳細につきましては、別添資料を参照願います。

その他、全国に関する調査結果等につきましては、観光庁の宿泊旅行統計調査のページ

<http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>

を御覧ください。

《問い合わせ先》

東北運輸局 観光部国際観光課 中島・渡邊

TEL:022-791-7510

FAX:022-791-7538

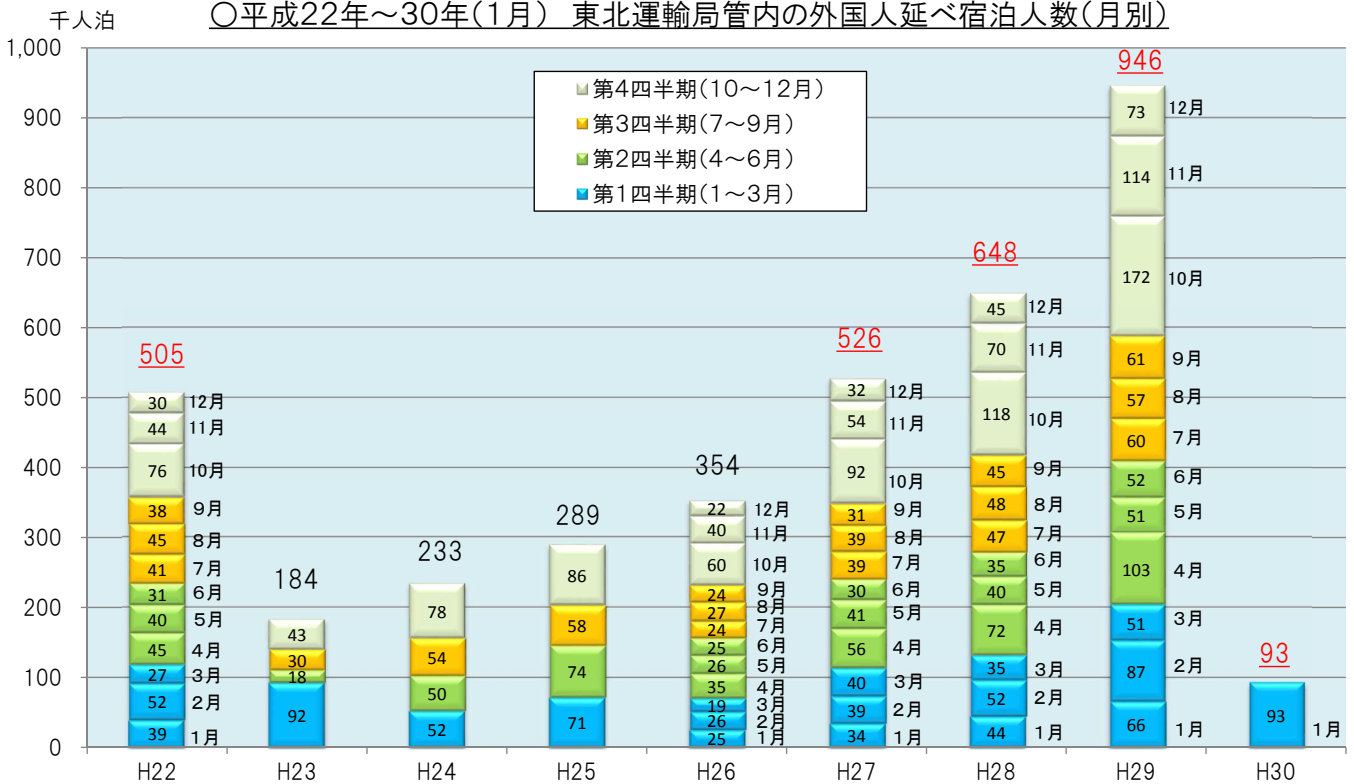
東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移



○平成29年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成28年の46%増となった。

○平成30年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成29年の42%増となった。

○平成22年～30年(1月) 東北運輸局管内の外国人延べ宿泊人数(月別)



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年1月以降は月ごとの第2次速報値。(出典:観光庁宿泊旅行統計)

別添1

東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その1)



国・地域	平成29年との比較			平成22年(震災前)との比較		
	総数 (平成30年1月の 前年同月比)			総数 (平成30年1月の 平成22年同月比)		
	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)
総数	65,500	93,030	42	38,720	93,030	140
韓国	7,820	9,780	25	15,610	9,780	-37
中国	14,070	16,240	15	2,670	16,240	508
香港	3,020	4,840	60	3,440	4,840	41
台湾	23,680	39,060	65	11,060	39,060	253
アメリカ	3,550	4,030	14	1,880	4,030	114
ロシア	300	160	-47	120	160	33
シンガポール	520	970	87	520	970	87
タイ	2,330	3,390	45	290	3,390	1,069
マレーシア	340	380	12	20	380	1,800
オーストラリア	2,930	4,020	37	290	4,020	1,286
その他	6,940	10,160	46	2,820	10,160	260

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。

※平成29年は月ごとの第2次速報値。

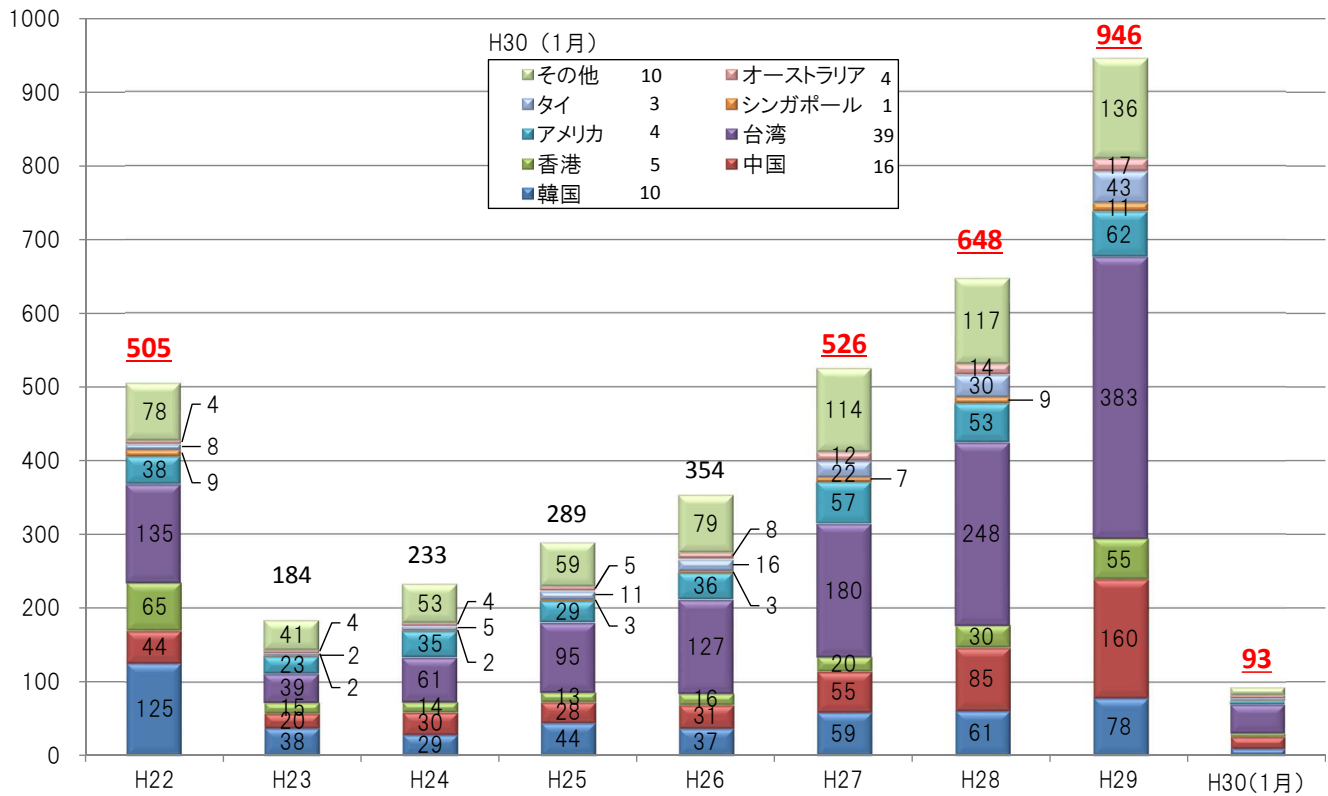
(出典:観光庁宿泊旅行統計)

別添2-1

東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その2)



千人泊 ○平成22年～30年 東北運輸局管内の市場別外国人延べ宿泊人数



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成29年は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添2-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その1)



○青森県の1月の増加の要因は、台湾とのチャーター便の運航、韓国定期便増便等による。
 ○岩手県の1月の増加の要因は、台湾、中国等からのスキー客の増加等による。

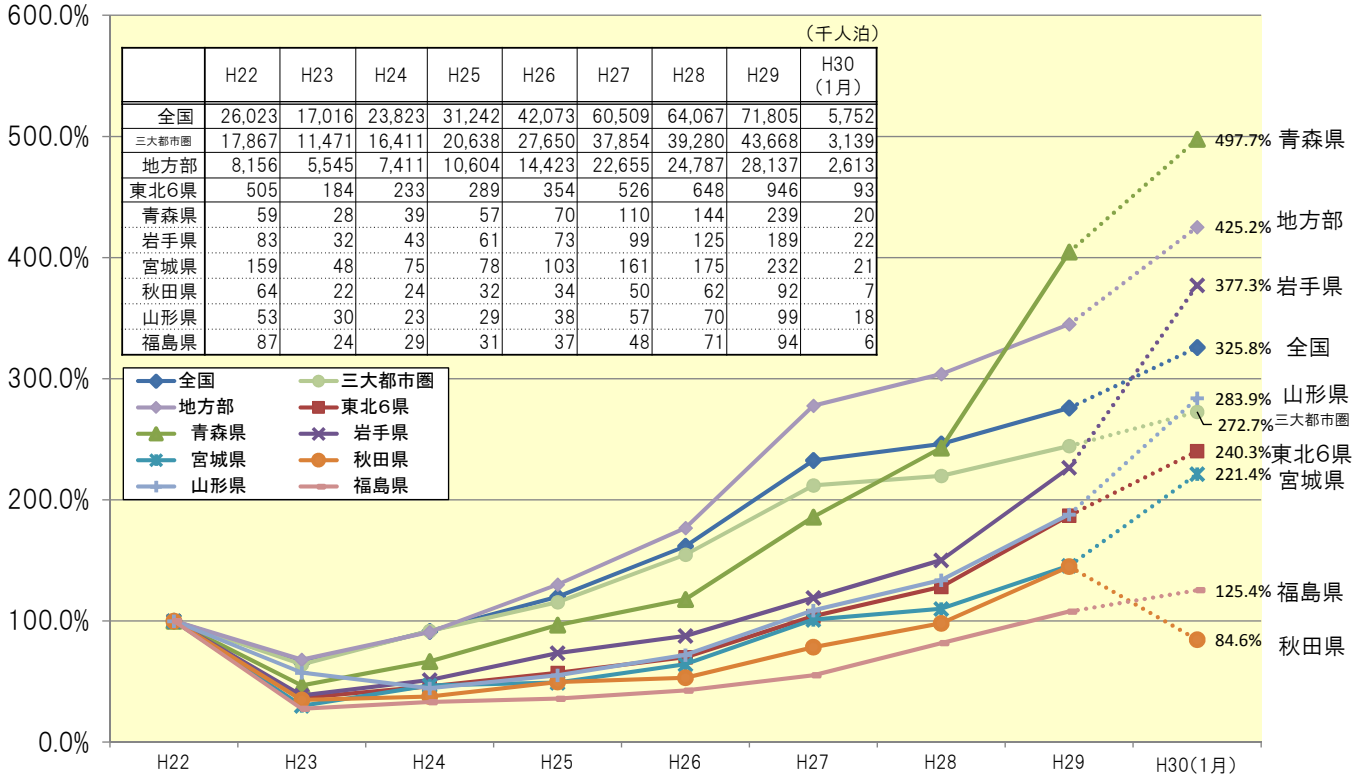
県	平成29年との比較			平成22年(震災前)との比較		
	総数 (平成30年1月の 前年同月比)			総数 (平成30年1月の 平成22年同月比)		
	平成29年	平成30年	伸率 (%)	平成22年	平成30年	伸率 (%)
全国	5,692,240	5,751,700	1	1,765,270	5,751,700	226
東北6県	65,500	93,030	42	38,720	93,030	140
青森県	11,290	19,710	75	3,960	19,710	398
岩手県	11,250	21,620	92	5,730	21,620	277
宮城県	16,870	20,630	22	9,320	20,630	121
秋田県	5,770	7,470	29	8,830	7,470	-15
山形県	12,490	17,830	43	6,280	17,830	184
福島県	7,830	5,770	-26	4,600	5,770	25

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成29年は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添3-1

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その2)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成22年を100とした場合の指数）

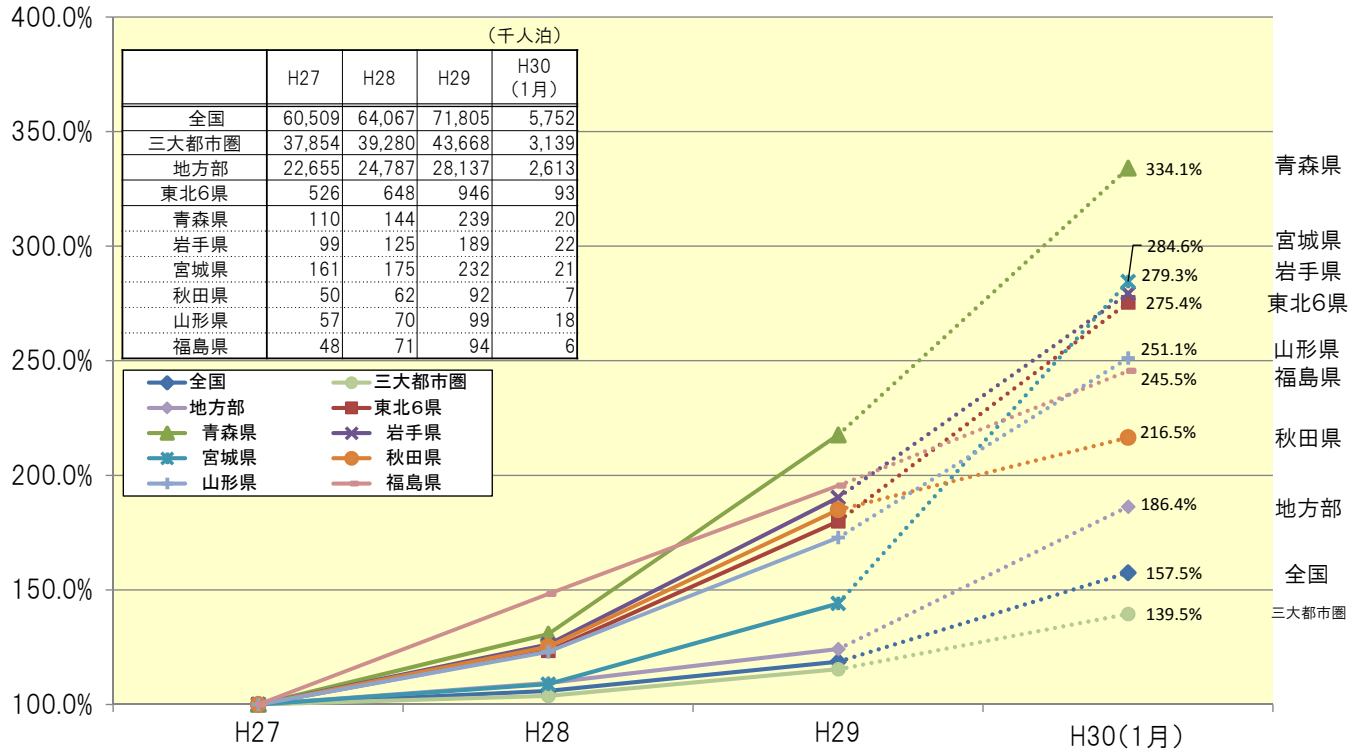


※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※H30の指数についてはH22の同期比。
 ※平成29年1月以降は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計)
 ※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。 別添3-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その3)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成27年を100とした場合の指数）



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※H30の指数についてはH22の同期比。
 ※平成29年1月以降は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計)
 ※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。 別添3-3
 ※「明日の日本を支える観光ビジョン」において、東北6県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊(2015年の3倍)にすることが掲げられている。